

※同報道資料は、各社より同時配信しております。重複して届く場合がありますことを予めご了承ください。

報道関係各位

2020年3月12日

シンジェンタ ジャパン株式会社

## 水稲湛水直播向けソリューション「RISOCARE®（リゾケア）」の紹介 およびシードケア インスティテュート ジャパンの設立について

シンジェンタ ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 的場 稔）は、水稲湛水直播向けのソリューション「RISOCARE®（リゾケア）」を2021年から展開することを発表します。それに伴い、2020年4月1日付けでアグリビジネス事業本部内に「RISOCARE事業部」を発足し、シンジェンタジャパン株式会社中央研究所内（茨城県牛久市）にシードケア インスティテュート（The Seedcare Institute）を設立することをお知らせします。

RISOCARE®（イタリア語の米「Riso」とシンジェンタ種子処理技術「Seedcare™」の造語）は生産者にとってのさらなる省力化に貢献します。通常、移植栽培では育苗ハウスの準備から始まり、種子消毒、育苗箱準備、播種、育苗、代かき、箱処理剤処理、苗出し、苗送りといった多くのプロセスに時間をかけます。RISOCARE®による水稲栽培では、生産者は播種作業前に代かきするのみです。生産者はコーティング処理された種子を受け取り、すぐに播種することができます。

RISOCARE®が提案する水稲栽培では、乗用播種機だけでなく、無人ヘリコプター・マルチローター（ドローン）・背負式動力散粒機など様々な播種機を多様な圃場環境にあわせて利用することができます。

さらに、シンジェンタ ジャパンはシードケア インスティテュート（The Seedcare Institute）を日本に設立し、種子処理方法の開発だけでなく、品質管理・加工生産技術、スチュワードシップ、トレーニング、種子に対する安全性・効果の確認等シードケアに関する包括的なサービスを提供します。

「農業の持続的な発展」の実現のために、規模拡大を目指す担い手、地域の農業生産を支える中山間地の生産者に貢献する技術開発が期待されています。シンジェンタ ジャパンは種子処理をベースとしたRISOCARE®で、これまで直播栽培導入を困難にしていた課題を解決して直播栽培の普及拡大を促進します。また、スマート農業技術との組み合わせや力強いパートナーシップにより、様々なタイプの生産者のニーズに応え、日本農業の生産性向上に貢献します。

詳しくは[シンジェンタ ジャパンウェブサイト](#)へ

## シンジェンタについて

シンジェンタは、アグリビジネスのリーディングカンパニーです。私たちの強い願いは、地球環境を守りながら、世界中に食料を安全に届けることに貢献することです。ワールドクラスの科学と革新的なクロップソリューションにより、農業の持続可能性、品質、安全性の向上を目指しています。シンジェンタの技術により、世界中の数百万人の生産者が限りある農業資源をより有効に活用できます。世界90カ国以上で2万8,000人超の社員が作物生産の変革に取り組んでいます。パートナーシップ、コラボレーション及びGood Growth Planを通じて、生産性の向上、劣化した農地の回復、生物多様性の促進、および農村地域社会の活性化にコミットしています。更に詳しい情報は、<http://www.syngenta.com>、[www.goodgrowthplan.com](http://www.goodgrowthplan.com) および<http://www.syngenta.co.jp>（日本語）をご覧ください。または ツイッター [www.twitter.com/Syngenta](http://www.twitter.com/Syngenta) でシンジェンタをフォローして下さい。

## 本件に関するお問い合わせ先

シンジェンタジャパン株式会社  
技術企画渉外部  
吉田 浩之  
MAIL: [Japan.PR@syngenta.com](mailto:Japan.PR@syngenta.com)

## 将来の見通しに関する記述についての注意事項

本リリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。そのような記述は、現在の予想、仮定、評価、推定に基づくものであり、様々なリスクや不確定要素その他による影響のため、結果、活動水準、実績、業績は、将来の見通しに関する記述とは異なる可能性があります。将来の見通しに関する記述は、「信じる」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「であろう」、「かもしれない」、「すべきである」、「推定する」、「予測する」、「潜在的な」、「継続する」といった単語や表現、またはこれらの否定形、または類似した表現により一般的に特定されます。限定的な仮定が不正確または未知のリスクまたは不確定性の発生を示した場合、実際の結果と時期は、将来の見通しに関する記述で論じられた結果や時期とは異なる場合がありますので、こうした記述に過度に依存すべきではありません。シンジェンタは、このプレスリリースおよびその他が扱う時期より後に派生した進展を反映させるため、将来に対する見通しに関するいかなる記述もそれを更新する意図と義務を一切持たないものとします。

(注) ® はシンジェンタ社の登録商標です。  
™ はシンジェンタ社の商標です。

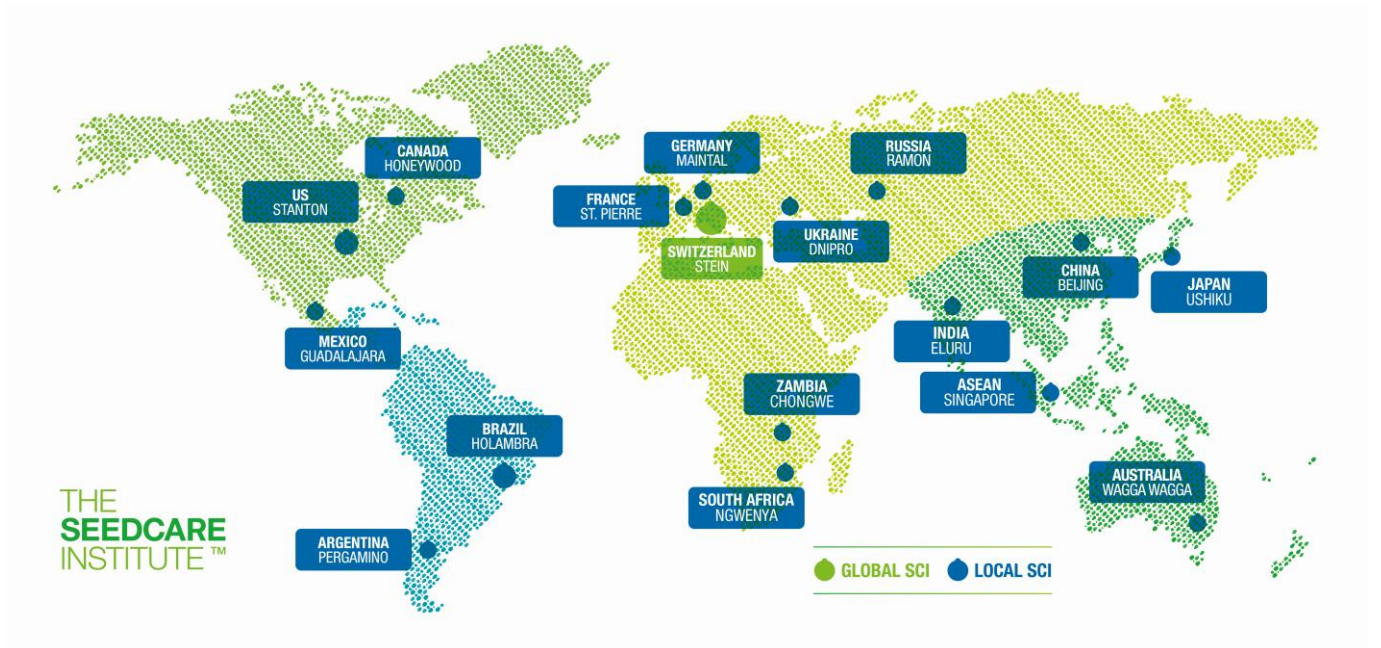
添付資料1：写真（RISOCARE®のロゴを紹介するシンジェンタジャパンの的場 稔社長(左)と西野 浩子アグリビジネス事業本部 事業本部長(右))



添付資料2：写真（RISOCARE®のコーティング種子）



添付資料3：世界のシードケア インスティテュート



注：シードケア インスティテュート ジャパンは2020年4月1日に設立予定